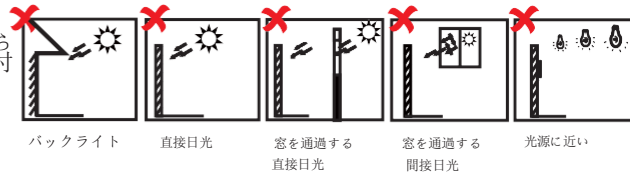


1 インストール

● 設置環境:

室内および屋外での取り付けが可能です。室内での取り付けの場合、デバイスは光源から少なくとも2メートル、窓やドアから少なくとも3メートル離して設置してください。屋外での取り付けの場合、ケーブル配線部分にシリコンシーラントを塗布し、雨滴の侵入を防いでください。

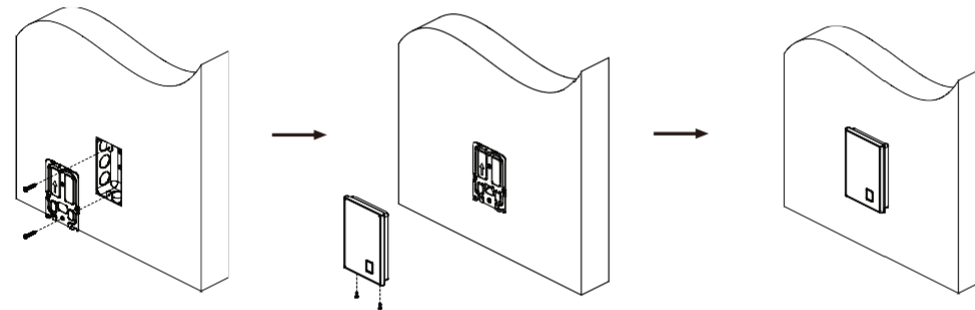


- 追加の力は、機器の重量の3倍に相当する力とする。設置中は、機器および関連する取り付け手段がしっかりと固定されていることを確認してください。設置後、関連する取り付けプレートを含む機器に損傷がないことを確認してください。

ギヤングボックスによる壁取り付け

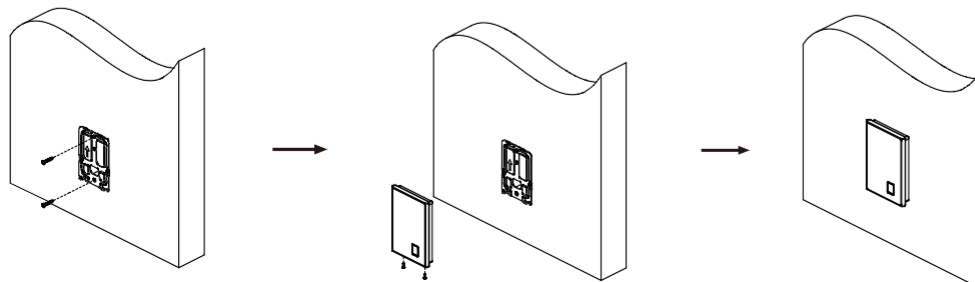
ギヤングボックスは付属して

- 1 ギヤングボックスが壁に正しく取り付けられていることを確認してください。
- 2 付属の2本のネジ (SC-KA4X25) を使用して、取り付けプレートをギヤングボックスに固定します。背面カバーを取り外し、ケーブルをケーブル穴に通して配線し、ギヤングボックスにケーブルを挿入します。
- 3 デバイスを取り付けプレートに合わせ、付属の2本のネジ (SC-KM3X8T10-SUS-NL) でデバイスを取り付けプレートに固定します。



ギヤングボックスを使用しないウォールマウント

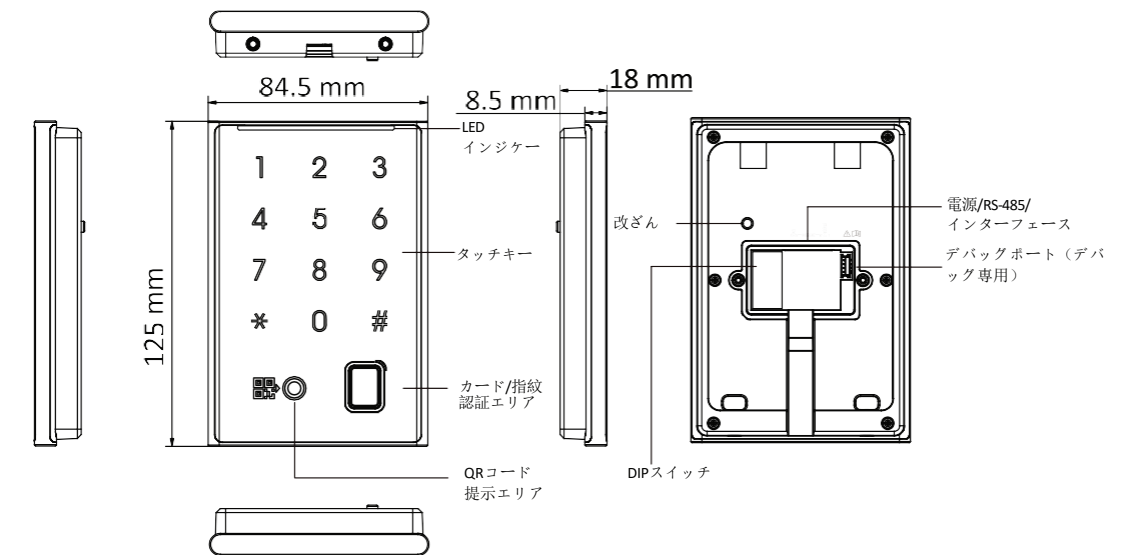
- 取り付けテンプレートの指示に従って、壁またはその他の表面に穴を開けます。
- 付属の2本のネジ (SC-KA4X25) を使用して、取り付けプレートを壁に固定します。背面カバーを取り外し、ケーブルをケーブル穴に通して配線し、背面カバーを元に戻します。
- デバイスをマウントプレートに合わせ、付属のネジ1本 (SC-CM4X14_5T10-SUSS) でデバイスをマウントプレートに固定します。



2 外観

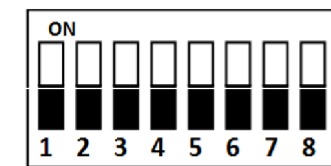
● 図は参考用です。

● カード、タッチキー、QRコード、指紋認証に対応するデバイスを、外観図の例として示しています。タッチキー/QRコードまたは指紋認証の機能は、一部のデバイスタイプでのみ対応可能です。他のデバイスタイプの外観図や詳細情報は、ユーザーマニュアルをご参照ください。



3 DIP スイッチの説明

DIP スイッチの説明



DIP スイッチモジュールは左のように表示されています。DIP スイッチの番号は、左から右に1から8までです。

- 二進数モードで1 (ON) を表します
- 二進数モードで0 (OFF) を表します

- **DIPスイッチ1〜4はRS-485アドレスを表します。**スイッチが1の方向に設定されている場合、1を表します。スイッチが0の方向に設定されている場合、0を表します。

RS-485 アドレス	DIPスイッチ 1	DIPスイッチ 2	DIPスイッチ 3	DIPスイッチ 4
住所1	ON	OFF	OFF	OFF
アドレス2	OFF	ON	OFF	OFF
アドレス3	ON	ON	OFF	OFF
アドレス4	OFF	OFF	ON	OFF

- **DIPスイッチ5はカードのセキュリティに関するものです。**スイッチが1の場合、M1カードの暗号化機能が有効になり、NFCカードによるドアの開錠が無効になります。スイッチが0の場合、M1カードの暗号化機能が無効になり、NFCカードによるドアの開錠が有効になり、カード番号が読み取られます。

- **DIPスイッチ6は、WiegandプロトコルまたはRS-485プロトコルを指します。**スイッチが1の場合、Wiegandプロトコルを指します。スイッチが0の場合、RS-485プロトコルを指します。

- **DIPスイッチ7は、Wiegandプロトコル (No. 6が1の場合に使用可能) を指します。**スイッチが1の場合、26ビットのWiegandプロトコルを指します。スイッチが0の場合、34ビットのWiegandプロトコルを指します。
- **DIPスイッチ8は、整合抵抗 (RS-485プロトコルで使用可能) を指します。**スイッチが1の方向に設定されている場合、これは「有効」を意味します。スイッチが0の方向に設定されている場合、これは「無効」を意味します。

カードリーダー
クイックスタートガイド
UD30374B-B

QRコードをスキャンして詳細なユーザーマニュアル
を取得してください



コントローラーとカードリーダーの間でケーブルを接続し、両者の通信を確立します。

RS-485通信モードの配線手順

1. No. 6 の DIP スイッチを 0 に設定します。

2. No. 1〜4 の DIP スイッチを RS-485 アドレス用に設定します。

3. コントローラーとカードリーダーの間を、以下の図に示すようにケーブルで接続してください。

Controller

485A 485B GND DC 12V

YellowBlueBlackRed

Card Reader

Wiegand通信モードの配線手順

1. No. 6 の DIP スイッチを 1 に設定します。

2. カード読み取りモードと Wiegand プロトコル用に、No. 5 および 7 の DIP スイッチを設定します。

3. コントローラーとカードリーダーの間を、以下の図に示すようにケーブルで接続してください。

Controller

GND 12 V W0 W1 BZ ERR OK Tamper

BlackRedGreenWhitePurpleOrangeBrownGrey

Card Reader

カードリーダーの電源をオンにすると、LED ステータスインジケータが緑色に点滅します。

1回点滅します。その後、赤色に点灯し、3回点滅します。最後にブザーがピープ音を鳴らします。

起動プロセスが完了したことを示す音が鳴ります。

音の案内	説明
1回ピープ音	カードのスワイプまたはキーの押下が正常に実行されました；QRコードが検出されました；キーを押すためのタイムアウト キーを押すよう促す。
2回のピープ音	カードのスワイプ操作が有効です； ドアが開きます。

LEDインジケータの状態	説明
緑色点滅 (1回点滅)、赤色点滅 (3回点滅)	カードリーダーの電源が入っています。
緑色点滅	グループ認識の促し。
2秒間緑色点灯	キーを押すまたはスワイプする操作は有効です。
3回点滅して赤色に点灯	キーを押すまたはカードをスワイプする操作カードは有効です。
赤色点灯	OSDP プロトコルによるスタンバイモードです。インジケータは、アクセスコントローラによって制御されています。
赤色点滅	RS-485 プロトコルの場合：登録に失敗したか、カードリーダーがオフラインです。
白色	RS-485 プロトコルでスタンバイモードです。

音説明

LEDインジケータ説明

Regulatory Information

FCC情報
適合性に関する責任者が明示的に承認していない変更または改造を行うと、お客様の機器の操作権限が無効になる場合があります。FCC 規則：この機器は、FCC 規則のパート 15 に準拠するクラス B デジタル機器の制限事項について試験され、その適合性が確認されています。これらの制限は、住宅環境での使用において有害な干渉を合理的に防止するために設定されています。この装置は、無線周波エネルギーを発生、使用、および放射します。指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境において干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合は、装置の電源をオフにして確認してください。干渉が確認された場合は、以下のいずれかの方法で干渉を修正してください。
—受信アンテナの向きや位置を変更する。
—機器と受信機との距離を離す。
—機器を、受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに接続する。
—販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

FCCの条件
この装置はFCC規則の第15部に準拠しています。使用には以下の2つの条件が適用されます：
1. この装置は有害な干渉を引き起こしてはなりません。
2. この装置は、受信した干渉（不要な動作を引き起こす可能性のある干渉を含む）をすべて受け入れる必要があります。

CE

2006/66/EC (電池指令): この製品には、欧州連合では一般廃棄物として処分できない電池が含まれています。電池に関する具体的な情報については、製品のバッチメダルをご覧ください。電池には、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字を含むこの記号が記載されています。適切なリサイクルのため、電池は販売店または指定の回収場所に返却してください。詳細については、www.recyclethis.info をご覧ください。

2012/19/EU (WEEE指令)：

このマークが付いた製品は、欧州連合内で分別されない一般廃棄物として処分できません。適切にリサイクルのため、同等の新品を購入する際は、この製品を販売店に返却するか、指定の回収場所に処分してください。詳細については、www.recyclethis.info をご覧ください。

©2022 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. 全著作権所有。このマニュアルについて
このマニュアルには、製品の操作および管理に関する説明が記載されています。このマニュアルに掲載されている写真、図、およびその他の情報は、説明および解読のみを目的として提供されています。このマニュアルに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートなどにより、予告なく変更される場合があります。このマニュアルの最新バージョンは、Hikvision のウェブページ (<https://www.hikvision.com/>) をご覧ください。
商標
Hikvision およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、各管轄区域においてHikvisionの財産です。他の商標およびロゴは、それぞれ該当する所有者の財産です。
免責事項
適用される法律で許される最大限の範囲において、本マニュアルおよび記載された製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は「現状有姿」かつ「一切の瑕疵およびエラーを含まない」状態で提供されます。Hikvision は、商品性、満足、特定の目的への適用性を保証するものではありません。明示的または黙示的な保証は一切行いません。製品の使用は、お客様の責任において行なう必要があります。いかなる場合においても、Hikvision は、事業活動の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、文書の損失など、契約違反、不法行為、過失を含むお客様の製造物責任、一切の責任を負いません。システムの破損、または関係損失を含む損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、製品の使用に関連して生じた場合であっても、Hikvisionは一切の責任を負いません。
インターネットの性質上、セキュリティ上のリスクが内在していることを認識し、サイバー攻撃、ハッカーの攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、Hikvision は一切の責任を負わないことを認めるものとします。ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて、Hikvision はタイムリーな技術サポートを提供します。お客様の使用が適用されるすべての法律に準拠することを確認することであり、また、お客様は、適切な適法な使用を確保し、知的財産権、その他のプライバシー権を侵害しない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆弾の開発、安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、または人権侵害を支援する目的での使用は一切禁止されます。
本マニュアルと適用法との間に矛盾がある場合は、適用法が優先するものとします。

データ保護
デバイスの使用中、個人データが収集、保存、処理されます。データを保護するため、Hikvision デバイスはプライバシー保護サイバーセキュリティ原則に基づいて開発されています。Hikvision デバイスでは、生体認証データは暗号化方式でデバイスに保存されます。指紋認識機能では、指紋データは暗号化されたまま保存され、指紋画像を復元することは不可能です。データ管理者は、暗号化されたデータを送信する際には、個人データを保護するためのセキュリティ管理を実施し、適切なセキュリティ管理の実施を確保する必要があります。セキュリティ管理の有効性に関する定期的なレビューおよび評価の実施など）が言われますが、これらに限定されません。

安全に関する指示

警告

- すべての電子操作は、お住まいの地域の電気安全規制、防火規制、およびその他の関連規制を厳格に遵守してください。
- 弊社が提供する電源アダプタをご使用ください。消費電力は、必要値以上にしてください。
- 電源アダプタに複数の機器を接続しないでください。アダプタの過負荷により、過熱や火災の原因となることがあります。
- 本機の配線、設置、分解を行う場合は、必ず電源が切れていることを確認してください。
- 製品を壁や天井に取り付ける場合は、装置をしっかりと固定してください。
- 煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、サービスセンターにご連絡ください。
- 製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターまでご連絡ください。絶対に自分で分解しないでください。（不正な修理やメンテナンスによる問題については、当社は一切の責任を負いません。）

注意

- 装置を落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。また、高電磁波放射にさらさないでください。振動する表面や衝撃を受ける場所への設置は避けてください（無視すると装置の損傷を引き起こす可能性があります）。
- 本製品を、極端な高温（使用温度範囲は製品の仕様書をご参照ください）、低温、ほこりや湿気の多い場所、電磁波の強い場所に置かないでください。適切な使用温度は、-40℃ ～65℃ です。
- 室内用の機器カバーは、雨や湿気から保護してください。
- 機器を直射日光、換気不良の場所、またはヒーターやラジエーターなどの熱源にさらすことは禁止されています（無視すると火災の危険があります）。
- 装置を太陽や極端に明るい方向に向けないでください。そうすると、画面のちらつきや汚れが発生する可能性があります（ただし、これは故障ではありません）。同時に、センサーの耐久性に影響を与える可能性があります。
- 装置カバーを開ける際は、付属の手袋を使用し、装置カバーに直接触れないようにしてください。指からの汗の酸が装置カバーの表面コーティングを腐食するおそれがあります。
- 装置カバーの内部および外部表面を清掃する際は、柔らかく乾いた布を使用し、アルカリ性洗剤は使用しないでください。
- 梱包材は開封後、今後の使用のために保管してください。故障が発生した場合、元の梱包材と共に工場へ返送する必要があります。元の梱包材なしで輸送した場合、デバイスが損傷し、追加費用が発生する可能性があります。
- バッテリーの不適切な使用または交換は、爆発の危険を引き起こす可能性があります。交換時は同じまたは同等のタイプのみを使用してください。使用済みのバッテリーは、バッテリー製造元の指示に従って処分してください。
- カードが紛失した場合は、速やかにカードと成績表の紛失を報告してください。
- より高いセキュリティレベルが必要な場合は、複数の認証モードを使用してください。
- 複数のカードタイプに対応しています。カード性能と使用シーンに応じて、適切なカードタイプを選択してください。

